

日本原子力学会核燃料部会

平成17年度第五回運営委員会議事録

日時 : 平成18年3月25日(土) 11:00~12:00

場所 : JAEA大洗研究開発センター F-Cerveaux5階 控室1

出席者 : (順不同 敬称略)

山脇部会長、山本副部会長、安部田委員、伊東委員、大澤委員、今村委員、来山委員
杉崎委員、若松委員、緒方委員、平井委員、更田委員、藤田(千)委員、和田委員
仙藤氏(藤田(元)委員代理)、米田委員、木下委員、寺井委員、野田委員
三島氏(JNFL/説明補助)、岩田委員、佐藤委員、森山委員、宇埜氏(山中委員代理)

議事

1. 総会資料確認

- ・ 若松委員より資料1に基づき総会報告資料が提案され、了承された。
- ・ なお、山脇部会長より、総会での報告の際には従来のように庶務幹事が資料を読み上げるだけでなく、担当の委員より補足説明するようにとの提案があった。総会に出席できない委員の方の担当分については、今回の総会から担当委員にて補足説明することとした。

2. 平成17年度予算・実績および平成18年度予算案について

- ・ 若松委員より資料2に基づき、平成17年度の予算消化状況ならびに平成18年度の予算案について報告がなされた。
- ・ 平成17年度末での収入実績予想 3,253,392円、支出実績予想 461,190円、繰越金予想 2,792,202円であることが報告された。収入が大幅に増加したのは、2005年WRFPMの剰余金が核燃料部会に寄付されたことによる。
- ・ 平成18年度予算については、学会からの指示もあり321,000円と平成17年度予算よりも収入減となる。支出については、2005年WRFPMの英文論文集発行のために1,890,000円の支出を計上しており、合計で2,300,900円の支出となる。従って、年度収支は▲1,979,900円のマイナスとなるが、平成17年度末繰越金にてまかなう。
- ・ 平成18年度末繰越金は1,323,635円となる予定である。
- ・ 以上の内容で、予算案が了承された。

3. 運営委員変更

- ・ 若松委員より資料3に基づき、JNES/林委員から緒方委員へ、四電/大沢委員から今村委員への委員変更があったことが報告され了承された。
- ・ また、山脇部会長より部会長交代の提案がなされ、協議の結果、東大/岩田先生に次期部会長に就任していただくことになった。なお、2006年度のTop Fuelまでは山脇部会長が担当され、2006年11月1日付で岩田先生が部会長に就任されることとなった。加えて、平成18年度の部会代表の評議員は、京大/森山先生から東大/岩田先生に変更することの連絡があった。

4. 2006年春の年会での企画セッションについて

- ・ 森山委員より資料4に基づき、核融合工学部会、核燃料部会、材料部会合同で「核分裂炉・核融合炉燃料材料に関する日韓セミナー」が3月25日午後に行なわれることの報告がなされ了承された。
- ・ その他として、2006年度の日韓夏期セミナー(3部会合同)をいつ、どのように行なうかの議論となり、3月26日に関係者で調整することが山本副部会長より報告された。

5. 部会報進捗状況報告

- ・藤田委員(原電)から資料5に基づき、部会報第41-2号を発行したことの報告があり、了承された。
- ・第41-2号は製本による配布に加え、PDFにてメール送付も行なうようにしたが、容量大(4M)のため届いていないようであるとの報告もあった。
- ・2006年度は部会報担当委員が変わるので、その引継ぎを行なっていることの報告もあった。

6. 平成18年度夏期セミナー報告

- ・米田委員および三島氏(JNFL)から資料6に基づき、開催日(7月13日~15日)、開催場所(熊本県阿蘇)で行なうこと、また、今回は材料部会と連続した日程で同一場所での開催となり、7月12日に合同懇親会、翌13日午前に共通セッションを行なうことの報告があり、了承された。
- ・セッションの中で、「フルMOXBWRの炉心/燃料設計」について日立殿に依頼するようしていたが、GNF殿が担当されることに変更された。
- ・今回の夏期セミナーには海外からの講演を依頼しており、ハルデン、フランスからは参加してもらえらることになっている。
- ・また、木下委員より資料9にてインドから講演者に来てもらうよう交渉をしていることの報告があり、協議の結果、日印の原子力分野での交流を促進することを目的として、今回の夏期セミナーにインドの講演を組み込む方向で取り組むことになった。

7. 関係研究専門委員会の活動状況

7-1.「核燃料技術基盤の高度化」研究専門委員会

- ・更田委員より、資料7-1に基づき、第一回目の委員会を4月25日午後1時にJAEAシステム計算科学センター会議室で行なうこと、およびPWR燃料用改良被覆管材「J合金」の開発をテーマとしてとりあげることの説明があった。

7-2.「先進的原子力システムにおける燃料・材料」研究専門委員会

- ・山脇部会長より、資料7-2に基づき、本専門委員会を立ち上げるべく学会に申請したことの説明があった。材料部会と核燃料部会が合同で立ち上げるものであり、主査は山脇部会長が担当されることになっている。
- ・理事会が5月に開かれる予定であり、そこで承認されれば速やかに立ち上げていく。
- ・山脇部会長より、幹事ならびに委員になられる方々への協力依頼と、新たな委員希望者への歓迎の意向が表明された。

8. 次回運営委員会の予定について

- ・若松委員より、資料8に基づき、次回運営委員会(平成18年度第一回)日程案が提示された。
- ・協議の結果、06年5月17日(水) 13:30-15:30 原子力学会事務局会議室にて行なうこととなった。

9. その他

9-1.核燃料講義本について

- ・山本副部会長より、講義本について何部刷るかを判断するために、運営委員に何部売ってもらえるかのメールを出したいとの提案があった。
- ・運営委員だけでなく、核燃料部会員のメーリングリストを使って、購入希望者を募ることも有効ではないかとの意見も出された。
- ・山本副部会長にて、運営委員および部会員へ購入依頼のメールを出すこととなった。

9-2.和文論文誌について

- ・山脇部会長より、学会編集事務局から和文論文誌への総説の投稿者を推薦して欲しい旨の連絡があったことの紹介があった。

- ・ 4月末までが期限なので、投稿しようという方がいれば山協部会長まで申し出ていただく。

以 上

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)